対極の美　白と黒がおりなす世界

2015年6月13日（土）～7月26日（日）

主催：徳川美術館・日本経済新聞社

・展示期間：Aは6月13日～7月5日、Bは7月7日～26日。
・都合により出品作品が変更になることがあります。
・所蔵者の記載のないものは徳川美術館、※は名古屋市蓬左文庫の所蔵品です。

白と黒は、すべての色彩の極限にある色です。対極をなす一方で、その濃淡により無限の階調が生み出され、最も単純でありながら、二つの色が織りなす世界は実に美しく豊かです。日本では、白は清浄・長寿を象徴し、冠婚葬祭の場を彩りました。黒は日本画には不可欠な墨の色であり、深く艶やかな黒が好まれた工芸では、発色に工夫が重ねられました。

白と黒、拮抗し互いに響き合う美の世界と色の秘密を、絵画や陶磁・漆工・金工など多彩な切り口で探ります。

No.	作品名		時代	世紀	展示期間 所蔵者
対極の色　白と黒					
1	図書編　巻二・三	百冊の内	明	万暦41年〈1613〉	※
2	能面 白式尉		室町	16	
3	能面 黒式尉　伝越智吉舟作		室町	16	
4	葵・浮線菊紋散唐草蒔絵碁盤		江戸	19	
モノクロームの世界					
— 書 —					
5	和歌色紙「つゝめとも」　藤原伊房筆		平安	11	A
6	民部切　古今和歌集　伝源俊頼筆	岡谷家寄贈	平安	11	B
7	朗詠屏風　近衛信尹筆	六曲一双の内 右隻	江戸	17	A
8	一大字「鸞」　徳川宗勝(尾張家8代)筆		江戸	18	A
9	二大字「好禮」　徳川慶恕(慶勝・尾張家14代)筆		江戸	19	B
10	唐墨　五螭　程君房製		明	16-17	
11	唐墨　百子図　曹仲魁製		明	16-17	
12	唐墨　万花谷　汪春元製		明	16-17	
13	唐墨　天保九如　吳鴻漸製		明	16-17	
14	唐墨　龍柱墨		明	16-17	
15	唐墨　寿老人墨		明	16-17	
16	白墨　龍香御墨　大明万暦年製		明	16-17	
17	白墨　五清　吳申伯(勝央)製	七挺の内	明	16-17	
18	猿面硯		平安	11-12	
19	唐銅石籠に亀筆架		江戸	19	
20	小筆	六本の内	江戸	17	
21	太軸筆		江戸-明治	19	
— 水墨画 —					
22	富士図　伝相阿弥筆・伝策彦周良賛　四幅対の内	春・夏　横山家伝来	室町	15-16	B
23	四季花鳥図屏風　狩野探幽筆	六曲一双の内 左隻	江戸	17	B
24	雲龍・雪梅・風竹図　狩野山雪筆	三幅対　吉田家寄贈	江戸	17	A
25	竹に翡翠図　徳川光友(尾張家2代)筆		江戸	万治2年〈1659〉	B

No.	作品名		時代	世紀	展示期間 所蔵者
26	月に薄図　岡村葵圓筆		明治-昭和	19-20	A
27	雪中鴛鴦図　岡本柳南筆	岡本柳英氏寄贈	明治	明治32年〈1899〉	B
— 白描画 —					
28	時代不同歌合絵　伊勢･清輔　伝冷泉為之筆		室町	15	A
29	時代不同歌合絵　蟬丸　伝藤原為家筆		室町	15	B
30	白描源氏物語色紙画帖		江戸	17-18	
— 版画 —					
31	近世怪談霜夜星　柳亭種彦作･葛飾北斎画	五冊の内	江戸	文化5年〈1808〉	※
32	富嶽百景　初編　葛飾北斎画	二冊の内	江戸	19	※
33	白縫譚　柳下亭種員ほか作･香蝶楼豊国ほか画	百四十冊の内	江戸	嘉永2-明治16年 〈1849-83〉	※
34	清盛入道布引滝遊覧 悪源太義平霊討難波次郎　歌川国芳画　三枚続		江戸	19	A
35	東都名所 浅草金龍山年ノ市　歌川広重(初代)画		江戸	19	B
36	牛若丸熊坂長範を討つ図　歌川国芳画	三枚続	江戸	19	B
37	雪月花の内 月　月岡芳年画	三枚続	明治	明治23年〈1890〉	A
38	千代田之大奥　おたち退　楊洲周延画	三枚続	明治	明治27年〈1894〉	B
39	真美人　楊洲周延画	三十六枚の内	明治	明治30年〈1897〉	A
— 石摺法帖（拓本）—					
40	醉翁亭記（原本 蘇軾筆）	徳川光友(尾張家2代)所用	明	16-17	
41	峒嶁山禹碑		明-清	17	
42	雁山霊勝図		明-清	17	

やきものの白と黒

43	白釉水注		北宋	11-12	個人蔵
44	白地掻落牡丹唐草文梅瓶		北宋	12	個人蔵
45	白磁皿		明	16-17	
46	白磁鷺文木瓜形長猪口	二十口の内	清	17	
47	白磁四方鉢		朝鮮王朝	16	
48	白磁四方割高台鉢		朝鮮王朝	16-17	
49	白磁編笠形鉢		朝鮮王朝	16	
50	白天目　大名物	徳川将軍家伝来	朝鮮王朝	15-16	
51	刷毛目茶碗　銘 白波	岡谷家寄贈	朝鮮王朝	16	
52	白天目　大名物　武野紹鷗･武野新右衛門所用	重要文化財	室町	16	B
53	志野割高台茶碗　銘 東雲		桃山	16-17	個人蔵
54	竹の子文志野筒茶碗　歌銘 玉川	岡谷家寄贈	桃山	16-17	
55	御深井白天目		江戸	17	A
56	油滴天目(星建盞)		南宋	12-13	
57	黒樂茶碗　銘 横槌　伝樂二代目長次郎作		桃山	16-17	
58	瀬戸黒茶碗　銘 山人		桃山	16-17	個人蔵
59	瀬戸黒茶碗		桃山	16-17	個人蔵
60	織部黒茶碗　銘 鉄黒		桃山-江戸	17	個人蔵
61	織部筒茶碗　銘 冬枯	岡谷家寄贈　重要文化財	桃山-江戸	17	

うるしの白と黒

62	牡丹文堆黒盆	元	14	
63	唐花文堆黒盞台	南宋	13	
64	屈輪文堆黒盆　銘「朱璟造」	元-明	14-15	

No.	作品名		時代	世紀	展示期間 所蔵者
65	菊鷺文白密陀彫文庫		明	15	
66	白密陀双鳥蝶椿漆絵･箔絵盆	五枚の内	琉球	17-18	
67	文徴明書螺鈿風炉先屏風	二曲一隻	朝鮮王朝	16-17	
68	雲龍文螺鈿琵琶		琉球	16-17	
69	黒塗利休形会席具　山本春正作	五人前の内	江戸	天保11年〈1840〉	
70	小桐紋風炉先屏風(白地雲母)	二曲一隻　高橋家寄贈	昭和	昭和57年〈1982〉	
71	小桐紋風炉先屏風(白地黄土雲母)	二曲一隻　高橋家寄贈	昭和	昭和57年〈1982〉	

金工の白と黒

― 白金（しろがね）―

72	銀葵紋霰釜	徳川斉温(尾張家11代)所用	江戸	19	
73	銀冠形文鎮		江戸	17	
74	銀蓑亀形文鎮		江戸	17	
75	銀橘折枝形文鎮		江戸	19	
76	銀菊折枝形文鎮		江戸	19	
77	銀橘打枝床飾香炉		江戸	18-19	
78	諒闇太刀拵	徳川慶勝(尾張家14代)所持	江戸	慶応3年〈1867〉	

― 黒金（くろがね）―

79	芦屋立鼓形釜		室町	16	
80	草花禽獣銀象嵌鉄水滴		朝鮮王朝	16-17	
81	短刀　銘 国光(新藤五)		鎌倉	14	
82	丸橋図透鉄鐔　銘 武州住恒忠		江戸	18-19	
83	鶏透鉄鐔		江戸	18-19	
84	紋尽透鉄鐔		江戸	19	

― 赤銅（しゃくどう）―

85	水鳥図三所物　無銘 祐乗		室町	15-16	
86	牛図三所物　銘 紋祐乗 光美(花押)		室町	15-16	
87	篠雪図三所物　無銘 笄 宗乗作　目貫･小柄 顕乗作		桃山	16	
88	苫船に鷺図三所物　銘 桂乗作 光美(花押)		江戸	18	
89	百合図赤銅鐔　銘 後藤光美		江戸	19	
90	月に兎木賊図赤銅鐔　銘 武州住正親	大小二枚	江戸	19	
91	七宝折鶴赤銅鐔　銘 越前住吟宇(花押)		江戸	19	
92	赤銅葵紋銀継分沈箱		江戸	18	
93	赤銅葵紋若松文香箱		江戸	19	
94	赤銅月透銀印籠		江戸	19	

武将の装い

95	銀溜白糸威具足	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	
96	黒塗黒糸威具足	同上	江戸	17	
97	纏「直鋒」(関ヶ原合戦時使用)	松平忠吉(徳川家康4男)所用	桃山	16	
98	黒羅背板地葵紋付波文火事羽織	徳川綱誠(尾張家3代)着用	江戸	17	A
99	白羅紗地葵紋付陣羽織	徳川慶勝(尾張家14代)着用	江戸	19	B
100	黒石地塗刀拵	徳川光友(尾張家2代)所持	江戸	17	
101	黒石地塗脇指拵	同上	江戸	17	
102	鶏卵皮研出塗刀拵	徳川慶勝(尾張家14代)所持	江戸	文久2年〈1862〉	
103	鶏卵皮研出塗脇指拵	同上	江戸	文久2年〈1862〉	

No.	作品名		時代	世紀	展示期間 所蔵者
104	石首魚石入蠟色塗刀拵	徳川慶勝(尾張家14代)所持	江戸	安政4年〈1857〉	
105	石首魚石入蠟色塗脇指拵	同上	江戸	安政元年〈1854〉	
106	葵紋散蒔絵刀掛	徳川義礼(尾張家18代)所用	江戸	19	

姫君の装い

107	橘唐草蒔絵耳盥･輪台		江戸	19	
108	橘唐草蒔絵渡金箱		江戸	19	
109	橘唐草蒔絵歯黒箱		江戸	19	
110	真鍮鉄漿沸		江戸	19	
111	橘唐草蒔絵嗽茶碗･台		江戸	19	
112	橘唐草蒔絵鏡立･鏡巣		江戸	19	
113	松竹梅唐草文筋違紋散蒔絵髪箱	貞徳院矩姫(尾張家14代慶勝正室)所用	江戸	19	
114	髪	同上着用	江戸	19	
115	白綸子地鼓に藤･杜若文小袖	同上	江戸	19	A
116	白綸子地紗綾形に団扇･牡丹･藤･菊文振袖	同上	江戸	19	B
117	黒塗唐草蒔絵衣桁		江戸	19	
118	黒紅地松竹梅文夜具(仮縫)	清月院釧姫(尾張家12代斉荘4女)所用	江戸	19	A
119	黒紅地亀甲繋に松竹梅文腰巻用裂	貞徳院矩姫(尾張家14代慶勝正室)着用	江戸	19	B
参考	染織見本　黒紅染(紅下染)・憲法染(藍下染)など	株式会社染技連　矢野俊昭氏提供			

聖なる白

― 白の寿ぎ ―

120	白羽二重産衣	徳川綱誠(尾張家3代)誕生服	江戸	承応元年〈1652〉	A
121	白綾地松竹に宝尽くし文陣羽織	大丸松坂屋寄贈　松坂屋コレクション	江戸	18	B
122	白絵蓬莱図天児箱		江戸	19	
123	白絵蓬莱図筒守箱	真光院良子(尾張家18代義礼夫人)所用	江戸	19	
124	白絵蓬莱図筒守箱	同上	江戸	19	
125	綿白髪	徳川斉朝(尾張家10代)所用	江戸	寛政7年〈1795〉	建中寺蔵
126	白地菱繋文緞子守袋	貞徳院矩姫(尾張家14代慶勝正室)所用	江戸	19	A
127	白絵筋違紋付蓬莱図守袋箱	同上	江戸	19	

― 白い動物 ―

128	白狐戴		江戸	19	A
129	白鳩･龍図軍扇	徳川義直(尾張家初代)所用	江戸	17	B
130	新板甲子温泉　歌川国政(4代)画		明治	19	A
131	新板ねづみのたわむれ　歌川国政(4代)画		明治	明治15年〈1882〉	A
132	志ん板ねづみのたわむれ　歌川国政(4代)画		明治	19	B
133	新板鼠の戯　歌川国利画		明治	明治17年〈1884〉	B

以上